



# 私のひとりごと

## 「東京オリンピック」

今から約半世紀前、私が10才の時東京オリンピックが開催された。当時は各家庭にテレビは無く、集落でも2、3件のお宅にしかテレビがなかった様に記憶する。当時あるお宅でオリンピック放送を見ている最中に事件！？が起きた。それは入場行進が始まった時、二人の大人がツカツカと上がり込みテレビの線（当時はアンテナを上げていた）を外しだしアッと云う間にテレビを持ち去って行ったのである。理由は定かでは無いが、10才の私でもあっ気にとられた様な記憶がある。なので私の東京オリンピックの思い出は入場行進だけなのだ。まるで嘘の様な本当の話なのだから、鮮明に記憶している事もご理解いただけると思う。あれから49年。先日、東京オリンピックの開催が決定した。誘致活動中はさほど興味も無かったが（スミマセン）実際決まってみると、とても大きな明るいニュースであり心がワクワクする。

話は変わるが、先日集落の秋祭りが行われた。祭りをアピールするポスターに「福井県で一番エッチな祭り」と書いてある。それもその筈、祭りの主役である天狗の面を付けた若い衆が男性のシンボルの形をした御神体（木製で30センチ位）を持ち、女性を追い掛け回し御神体で突くのである。突かれた女性は子宝に恵まれると聞かすが、確かにエッチな祭りである。また何処にでもお祭り男がいるもので仮にA君としよう。以前A君は天狗をした時、自分の御神体で女性を突きまくったという伝説の持ち主である。どうやらお酒が入ると脱ぎたくなるらしく、今回も素っ裸でウロウロしだし女性がいってもお構いなしである。度が過ぎ手がつけられない状態になってきたので、私はたまたま近くにあった赤いスプレーをA君の御神体に吹きかけた。一帯が真っ赤である。さすがのお祭り男も我に返り、祭りの宿でもある集落センターのキッチンシンクに飛び込み御神体を洗いたしたが、なかなか落ちるものではない。そのうち「痛い！痛い！」とベソをかき出した。私も責任？を感じ、キッチンにある洗剤で擦ってはみるが歯が立たない。慰めの言葉も無いが、それでも「痛かったら病院行くか？」とか、終いには「使っとるうちに落ちるで」とか、訳の分からない慰めの言葉を掛けるしかなかった。そのうち諦めたのか色白のA君、真っ赤な御神体をちらつかせ飛び回る姿は日の丸にも見え、オリンピック誘致の前兆だったのかもしれない……。その後のA君。病院に行ったのか？、色が落ちたのか？、奥様にどんな言い訳をしたのかは定かではない。



ではまた来月もお会いしましょう。  
今月も最後まで読んでいただき……

あーがしう  
ございました!!

